

聖霊降臨節第8週 歓迎礼拝

2017年7月23日

第一礼拝(午前8:00～) 歓迎礼拝(午前10:30～) 夕拝(休会)

第1部 **プレイズ アワー PRAISE HOUR (賛美の時)**

※歓迎の賛美 「向日葵」「シャイン ジーザス シャイン」 — 同
「5つのパンと2匹の魚」

第2部 **バイブル アワー BIBLE HOUR (みことばの時)**

聖書朗読 『ヨハネの福音書』11章1-16節(新約200頁) …… 司 会 者
黙 想 …… 同
メッセージ 「みこころがわからなくても」 …… 近 伸之牧師
※応答の賛美 新聖歌208「イエスは愛で満たす」 …… 同
感謝の献金 (新聖歌58) …… 同
感謝祈祷 …… 長谷川睦子姉
諸 案 内 (来信、集会案内) …… 司 会 者
諸 報 告 (来会者紹介、報告および暗唱聖句) …… 近 伸之牧師
※頌栄の賛美 新聖歌198「**GOD BLESS YOU**」(1節のみ) …… 同
※派遣の賛美 新聖歌54「主の祈り」(前方スクリーン参照) …… 同
※祝福の祈り …… 近 伸之牧師
※後 奏 (新聖歌59-7)

第3部 **フェロウシップアワー FELLOWSHIP HOUR (交わりの時)**
愛餐会

※印の所では、お身体の不自由な方以外はご起立をお願いします。

第一礼拝	司 会 者：近 伸之牧師 説 教	音 響：片山 勝三兄 献 金：沼田佐代子姉	
司 会 集	会：山崎 敬典兄 会：小林 洋子姉	映像・賛美：賛美チーム他 音響・録音：片山 浩司兄 説教の録画：近 伸之牧師	C S 担当：片山 初子姉 掃 除：長谷川睦子姉

説 教 メ モ

1. ラザロの病を聞いてからの二日間、イエスは愛する者の死をかみしめておられた。
2. 神を信じているからこそ「みこころ」に従う。しかし知ることより大事なのは従うこと。
3. ラザロの死は、よみがえりを通して神の栄光をあらわす機会となった。

先週の暗唱聖句

「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません」
(『ヨハネの福音書』8章11節)

今週の暗唱聖句

「イエスはこれを聞いて、言われた。『この病気は死で終わるだけのものではなく、神の栄光のためのものです。神の子がそれによって栄光を受けるためです。』」
(『ヨハネの福音書』11章4節)

個人、団体からの来信

2017年7月23日

教団より定期便/BEGINより、会計報告および夏季特別献金のお願い/「らいふだより」盛夏号/KGK北陸地区より諸案内/「映画と講演のつどい」案内[8月15日(火)日キ・新潟教会にて]/長谷部愛実宣教師合同報告会&壮行会の案内[9月3日(主日)午後7時より新潟福音教会にて]

先週の集会出席者数

7/16(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子3 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児4 成人女性2		
	第一礼拝	男2 女2	※月に一回、実用書道教室を開催	
	第二礼拝	男10 女17 計27	7/17(月・祝)	月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児1 女児4	7/19(水)	救 禱 会 男3 女5
	夕 拝	(休会)	7/21(金)	しゃべり場タビタ 男- 女3
			7/21(金)	金曜祈祷会 男- 女5

諸 集 会 の ご 案 内

7/24(月)午前9:30	実用書道教室	聖書：『詩篇』23篇1-4節	書の指導：藤田美保姉
7/24(月)午後8:00	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅	
7/26(水)午後7:30	阿賀野祈祷会	教会堂	司 会：片山 初子姉
7/28(金)午後1:30	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅	問合先：長谷川睦子姉
7/28(金)夜	金曜祈祷会	教会堂	

7/30(日) 聖霊降臨節第9週

第一礼拝 午前8:00	司 会：近 伸之牧師 説 教	音 響：片山 勝三兄 献 金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00		担 当：近 伸之牧師	
第二礼拝 午前10:30	司 会：横堀 正美兄 集 会：横堀 信子姉	映像・音響：片山 健司兄	感謝祈祷：森田 澄子姉
		説教の録画：近 伸之牧師	掃 除：森田 澄子姉

礼拝について	聖書：『ルカの福音書』19章1-10節
主日の予定	
夕 拝	※諸般の事情により、夕拝は休会とします

報 告

1. 本日の予定
歓迎礼拝の恵みを感謝します。この後は第3部として愛餐(昼食)の時を持ちます。初めての方、久しぶりの方もお気軽にご参加ください。
2. 宣教区内外の活動について
先週は、開拓・未自立教会支援デー、エヴァーグリーンコンサート、宣教区婦人会主催の講演会とさまざまな集いが催されましたが、祝福の中、無事に終わられました。感謝いたします。
3. 聖ヶ丘キャンプ奉仕者について
次週7月31日(月)よりU-13キャンプが始まりますが、聖ヶ丘キャンプ委員会より、奉仕者の確保が十分にできていない旨の緊急課題が寄せられました。詳細は掲示してありますので、ご覧ください、ご協力ください。

「ウルを旅立つアブラハム」羽鳥 明 (『ライフ・ライン』メッセージ集より)

神は、信じ従う人を恵みから恵みへ、祝福から祝福へと導きになるサンプルとして、選民としての「ユダヤ人」を選ばれました。そのユダヤ人の先祖がアブラム、後にアブラハムと名を変えた人です。アブラハムは「信仰の父」と呼ばれていますが、初めから唯一の真の神、全知全能の造り主である神を信じていたわけではありませんでした。メソポタミアのカルデア人の地ウルに住んで、周りの人と同じように偶像の神々に従って歩んでいたのです。しかしアブラハムはある日、真の神に呼び出されたのです。

「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる」

(『創世記』12章1～2節)

「はい」と答えた彼は、その行き先を知らないまま、カルデアのウルを出発したのです。75歳の時の事です。聖書はこう記しています。

「信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らずに、出て行きました」

(『ヘブル人への手紙』11章8節)

世の中には、「行き当たりばったり」「堂々巡り」の人生を送っている人がたくさんいます。どこから来て、どこへ行くのか。その行き先も目的も知ら

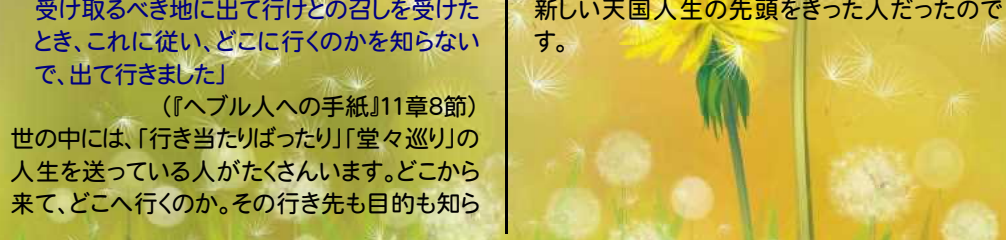
ない、その日暮らしの放浪人生です。アブラハムもそんな放浪人のように旅立ったのでしょうか。違います。彼は確かに、行く所を知らないで旅立ちました。しかし彼には導く真の神がおられました。ですから、止まる地、止まる所ごとに、神への祭壇を作り、神を礼拝したのです。彼は神の約束の地を慕い、天国の祝福の地を求めて人生の旅を続けたのです。

私たちの救いのために、命を捨ててくださった真の救い主であるキリストは、救いを成し遂げてよみがえり、私たちひとりひとりに声をかけ、お召しになるお方です。

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」

(『マタイの福音書』11章28節)

16歳の時、私も暗黒の中からこのかすかな細い声を聞き、「はい」と言って立ち上がり、どこに行くかも知らずに、このお方に従って人生を歩み始めました。天に向かって神と共に歩む、新しい祝福された人生でした。選民アブラハムは、この新しい天国人生の先頭をきった人だったので



2017年7月23日

週 Weekly Bulletin 報

Vol. 46/No. 30 (通巻2325号)



こころ足る日は遠出せず花葵

福永耕二



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15～5:45 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



7/29(土)「細川ガラシャ夫人の道ありき」長友あゆみさん

『氷点』『塩狩峠』『道ありき』などで知られる作家・三浦綾子さんが初めて執筆した歴史小説『細川ガラシャ夫人』を紹介します。この小説は、戦国武将・明智光秀の三女で細川忠興の正妻・細川ガラシャの苦悩とキリスト教信仰の生涯を描いたものです。北海道旭川市にある三浦綾子記念文学館を訪ね、現在行われている特別企画展『細川ガラシャ夫人』を紹介するとともに、この展示を企画した文学館の学芸員・長友あゆみさんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN. ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

2017年度教会目標 「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

